

第5章

重点的取り組み —リーディングプロジェクト—

リーディングプロジェクトは、将来に向けた区政の最重要課題への取り組みであり、区の重点施策を牽引する横断的な取り組みです。

リーディングプロジェクトは、今後10年間の区の取り組みを象徴するとともに、区民が夢を持ち、まちを元気にし、世田谷の魅力を高め、住みたいまち、住んでよかったと思えるまちにするための取り組みです。

リーディングプロジェクトは、区民と行政が幅広く知恵と力を合わせて着実に推進していくものです。

Project 1

身近で便利 交流促進プロジェクト

Project 2

次代を担う世田谷っ子プロジェクト

Project 3

いつまでも生きがいを生涯現役プロジェクト

Project 4

区民が創る良好な環境プロジェクト

Project 5

世田谷の魅力倍増プロジェクト

リーディングプロジェクトでは、各プロジェクトの取り組みの「目的」を示すとともに、達成度や参加度を把握する「成果指標」を設けました。

この他に、「現況・背景」では、世田谷区を取り巻く課題を整理しました。

区民と行政が取り組むための基本的な方向性を示す「取り組みの方向性」、それを分かりやすく図示した「取り組みのイメージ」で構成しています。

身近で便利 交流促進プロジェクト

目的

都心に近く風格がある住宅都市、世田谷区には、暮らしに便利なまちの機能や魅力がいっぱい詰まっています。これらの魅力に気軽に触れるため、誰もが、まちに出かけやすい安全で快適な移動環境を整備し、また、身近で気軽に区政や地域活動に参加できる環境づくりを進め、交流が活発で身近なまちを実現します。

現況・背景

- ◆ 都心に近く便利でありながらも、風格のある良好な住宅街やみどりの溪谷、下町風のにぎわいなど、多様な機能や魅力が一つに詰まっているのが世田谷区の特徴であり、大きな財産となっています。
- ◆ 道路の計画的整備や交通不便地域の解消による、まちの利便性や快適性などの向上が課題となっています。
- ◆ 子どもや高齢者、障害者など誰もが安全で歩きやすく移動しやすい道路や歩道、商店街などの環境整備を進め、人の行き来や交流を促すことが必要です。
- ◆ 今後、急速な高齢化が進む中で、身近な地域で必要な情報を入手し地域活動に役立て、行政サービスが身近に利用できる環境整備が求められるようになっていきます。

取り組みの方向性

1 身近で利用しやすい道路・交通環境の整備

道路網の整備や自転車の利用環境の向上、地域と地域とを身近に結ぶ公共交通サービスの導入を進め、まちの利便性を向上します。

2 だれもがまちに足を運びたくなる安全・便利な歩行空間の整備

身近な商店街におけるユニバーサルデザインのまちづくり、バス停や主要駅の快適性向上やバリアフリー化の推進、歩車道分離など安全な歩行空間の確保などを進め、誰でも気軽に足を運びたくなる、誰もが移動しやすいまちを実現します。

3 IT（情報通信技術）の活用による身近な参加と利用の促進

身近な地域における活動の場やIT（情報通信技術）を活用しながら、区民への情報提供や意見を聞く環境を整備するなど、区民参加を促進します。出張所における活動スペースの確保など区民の交流の場の整備や電子相談などのサービスが気軽に利用できる環境の整備を進めます。

ITの活用による身近な参加と利用の促進

区民活動スペースの提供

インターネットによる区民利用環境の整備



区民の
交流の場の
整備

ユニバーサル
デザインの
まちづくり

交流促進

自転車や
バスで
出かけやすい
環境

安全な
歩道づくり

総合的な移送
システム



だれもがまちに足を運びたくなる 安全・便利な歩行空間の整備

身近で利用しやすい道路・交通 ネットワークの整備

道路ネットワーク整備の推進

自転車利用環境の整備

地域をつなぐバス路線の充実

次代を担う世田谷っ子プロジェクト

目的

世田谷区では、これまでも世界に誇る人材が育ってきました。これからも、世田谷区らしい特色のある教育を進め、さまざまな人との関わりや体験を通して、世界にはばたく世田谷っ子が育つまちを目指します。また、子育て不安の解消など、より良い子育て環境を整備し、安心して子育てができるまちを目指します。

現況・背景

- ◆ 働く女性の増加や核家族化などを背景に、仕事との両立、子育て経験の不足や孤立化など、子育てに対する不安や負担感が高まる中で、安心して子育てができる環境が求められています。
- ◆ 子育てについて保護者が抱えている問題や子ども自身の悩みを解決するには、家庭と地域、学校の連携・協力が不可欠です。家庭・地域・学校が連携して地域の教育力を高め、豊かな心と社会性を持った子どもを育てることが必要です。
- ◆ 変化の著しい社会にあって自ら考え、主体的に行動できる人材が求められています。子どもたちに基礎的な学力を定着させるとともに、年齢に応じたさまざまな体験を通して、国際化、IT化などの社会に対応できる力を持った子どもの育成が求められています。

取り組みの方向性

1 地域とともに子どもを育てる

子どもの健やかな成長のため、子どもどうしの交流や地域の人たちとの交流、さまざまな遊びや体験の場や機会の充実を図ります。また、地域の区民が参加する、地域に根ざした学校教育を推進し、地域の教育力の向上を目指します。

2 特色のある世田谷の教育の推進

世田谷区が持つ文化資源を活かした文化や芸術の体験事業、地域の企業や商店街、区内大学と連携した体験学習など、子どもの体験の機会の充実を図るとともに就学前（幼児）教育を推進し、子どもの個性や多様な才能を伸ばします。また、特色のある世田谷の教育を通して、日本の伝統と文化を継承し、深く考え、自分を表現できる子どもを育てます。

3 子育て環境の向上

保育サービスの一層の充実と在宅子育てへのきめ細やかな支援、子どもの安全確保や健康づくりの支援など、子育ての負担の軽減と不安解消を総合的に進め、保護者が安心して子育てでき、健やかで元気な子どもが育つ環境を整えます。

地域とともに子どもを育てる

- 遊び・体験・社会参加による自立支援
- 地域が参画する学校づくり
- 地域の教育資源を活用した地域教育力の向上



次代を担う 世田谷っ子



特色のある世田谷の 教育の推進

- 信頼される学校運営
- 豊かな人間性や知力・体力を育む
教育の推進
- 就学前（幼児）教育の推進

子育て環境の向上

- 保育サービス等の充実
- 在宅子育て支援
- 児童虐待防止対策の推進
- 配慮を要する子どもへの
継続的な支援

いつまでも生きがいを 生涯現役プロジェクト

目的

区民の5人に1人が高齢者となる時代を迎えます。日頃からこころとからだの健康を維持・向上することで、誰もが自らの知識や経験、地域の豊かな文化や人びとのつながりを活かし、地域の一員として活躍できる生涯現役社会を実現します。

現況・背景

- ◆ 世田谷区には地域に根ざした豊かな文化があります。ふだんの生活の中で多様な文化に触れ親しんだり、自ら文化創出に関わったりする人たちも多く、まちの魅力となっています。
- ◆ 社会の第一線で活躍し、これから高齢期を迎える団塊の世代の豊富な経験や知恵を、地域の問題解決やまちの魅力向上に活かしていくことが期待されます。
- ◆ 地域で気軽にスポーツに親しみ、地域で協力しあい健康づくりを進めるなど、生活の基礎となるこころとからだの健康を、生活の楽しみ・生きがいとともに実現する必要があります。

取り組みの方向性

1 地域での活躍を支える健康づくりの推進

生活習慣病予防、ねたきり予防、認知症予防など、就労世代や壮年期の段階から、健康づくりと介護予防を一体的に進めます。基本健康診査の結果など健康に関する情報を区民が手軽に利用し健康づくりに役立てたり、食育の観点から普段の食生活の改善に区民自身が取り組むなど、予防の観点から、区民主体の健康づくりに取り組んでいきます。

2 経験や知識を活かせる地域づくり

区民が文化活動やスポーツを通してこころの豊かさを味わったり、さまざまな知識や経験を吸収できる環境を充実させます。地域での自主的な防犯活動、子育てや教育の場への参加など、さまざまな社会参加の場の充実や活動の支援を通して、これから高齢期を迎える団塊の世代がもつ知恵や経験を地域の中で活かせるまちを実現します。

知識や経験を活かせる地域づくり



生涯学習環境
の整備



世田谷の
地域文化の
創造



生涯現役



生涯スポーツ
の振興



地域での活躍を支える 健康づくりの推進

介護予防の推進

生活習慣病予防の推進

食を通じた健康づくりの推進

区民が創る良好な環境プロジェクト

目的

大都市の一角を占めながら、土やみどりの恵みを楽しむ豊かな環境が、世田谷区にはまだ残されています。これからも、区民・事業者が中心となって、水と緑、土と農に親しめる自然的環境を守り育てるとともに、省エネルギーやごみの減量など環境に配慮した暮らしの実践により、心豊かな生活や、うるおいのある地域づくりを進めます。

現況・背景

- ◆ 温暖化に代表される地球規模の環境問題は、区民の日常生活や事業活動にも影響を及ぼしています。将来に向けて、持続可能な地域社会の形成など環境にやさしい暮らしかたへの転換が課題となっています。
- ◆ 区内に残る豊かな水と緑は、世田谷区の大きな財産であり、うるおいのある住宅地としての魅力を高めています。
- ◆ 自然と親しみ、景観、環境を守る活動が区内各地で行われています。

取り組みの方向性

1 環境に配慮した暮らしの実践・創出

地球環境の保全、将来に向けた持続可能な地域社会の形成に向け、公共施設や学校で率先してごみ減量や省エネルギー対策に取り組むとともに、環境学習・環境教育の推進を図り、区民・事業者の自発的な環境配慮行動を促進します。

2 身近なみどりの充実と交流促進

世田谷区内の農地の活用や未利用地等の利用に関する区民参加を通して、みどりを大切にする意識を高め、身近なみどりをつくる活動を広げます。さらに、区独自のルールに基づく開発・建築に関する規制・誘導を行い、世田谷区内の貴重なみどりの生命線である国分寺崖線の環境保全や、緑地の創出を進めていきます。

身近なみどりの充実と交流促進

- 水と緑のまちづくり
- 都市景観の形成
- 都市型農業の推進
- 国分寺崖線沿いのみどりの保全・創出

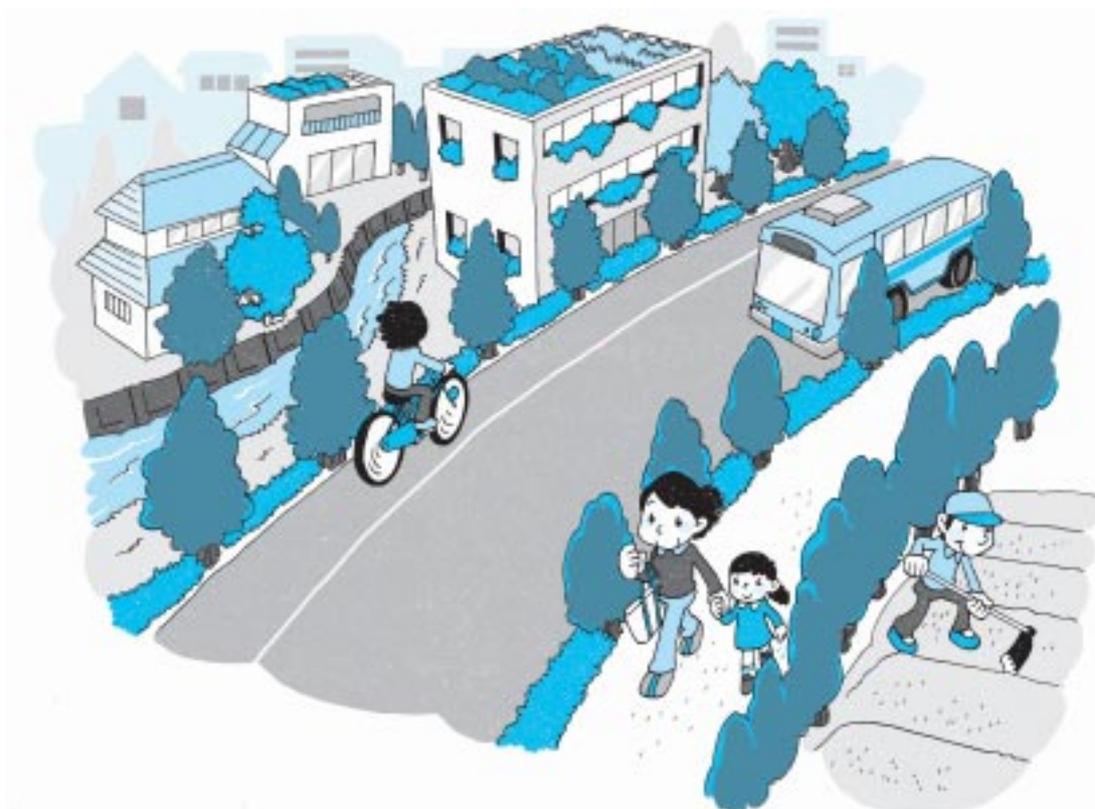
環境に配慮した暮らしの実践・創出

- 新エコライフ大作戦
- 環境学習・環境教育の推進

区民が創る良好な環境

循環型社会の形成

地球環境の保全



世田谷の魅力倍増プロジェクト

目的

若者の集う商店街や、劇場のあるまちなど、暮らしに身近なにぎわいは、世田谷区に住む人、世田谷区を訪れる人にとって大きな魅力です。人びとが集い、出会うにぎわいの核づくりを進め、世田谷区の新たな魅力を創造し、多様な人びとが活発に交流し、一段と魅力的な「世田谷」を実現します。

現況・背景

- ◆ 世田谷区には、知識人・文化人をはじめ、多様な人が住まい、商店街などのにぎわいの核、緑豊かな自然環境、充実した文化施設、洗練されたまちなみなどの高品質な地域資源が豊富に存在しています。
- ◆ にぎわいや産業はまちの活力の源であり、にぎわいの核づくりにおいても、ハード面での都市整備とソフト面での産業振興策の連携が重要となっています。
- ◆ 世田谷区における新たな産業振興の手法を通して、世田谷区の特徴である文化創造産業など地域資源を活かしてまちの魅力を発信し、人びとを集客する観光戦略が課題となっています。
- ◆ 大量の情報が流通する情報社会では、新たなアイデアやビジネスを生み出す価値ある情報が、人と人との交流の場において行き交い、高められていきます。区民、事業者、NPOなどが協働し、世田谷ブランドの向上につなげる取り組みが求められています。

取り組みの方向性

1 人びとが憩い集う核づくりの推進

駅周辺の道路や駅前広場など、区内の拠点の整備を進め、まちの機能性や利便性を向上させます。まちの景観の統一的な整備やアクセス改善などの取り組みを進め、商店街の魅力や地域の活気をさらに高め、多様な人びとが憩い集える核づくりを計画的に進めます。

2 世田谷の魅力を満載した産業の振興

世田谷区が有する豊富な観光資源を活用した魅力再発見の取り組みを展開し、また、世田谷区の特徴である映像や音楽、演劇などの文化発信力を高め、にぎわいの拠点の整備を進めるなど、産業振興や地域の活性化につなげる取り組みを、区民、事業者、NPO、行政が協働で実現し、まちの集客力を高めます。

3 区民の力を活かした世田谷ブランドの魅力向上

まちづくり、産業、文化、教育、福祉などさまざまな分野において、区民、事業者、NPO、行政それぞれが互いの経験や知識等を活かし交流することで、新たなアイデアやニュービジネスを創出し、更なる世田谷ブランドの向上を図ります。

取り組みのイメージ

安全・安心
まちづくりの
推進

世田谷の
地域文化の創造

地域と学校の
連携による地域
教育力の向上

観光の視点
による
地域産業の振興

世田谷の魅力倍增

地域が参画する
学校づくり

ニュービジネスの
創造



区民の力を活かした 世田谷ブランドの 魅力向上

地域の支えあい
活動の推進

にぎわいの
拠点づくり

区民と協力した
在宅サービス
ネットワーク
の展開

世田谷の魅力を満載した産業の振興

自然・文化を活かした観光戦略の推進

人びとが憩い集う核づくりの推進

にぎわいの核の整備

地域街づくりと協働した商店街の振興



